



DIGI REMOTE MANAGER[®]

Digi Remote Managerは、中央のセキュアなプラットフォームからデバイスを管理・制御します。

高速で効率的なトラブルシューティング、リモートコンフィグレーション、性能モニタリングを伴うパフォーマンスオプティメーションとセキュリティ要求を満たし、より高いデバイスの信頼性を享受できます。また、Digi Remote Managerは、3G/4G

LTE経由でDigi TransPortインテリジェントルータのリモートでの監視・更新・管理を、効率的で費用対効果の高い方法で提供します。

Digi Remote Managerの内容

デバイスヘルス

性能パラメータを正常稼働している機器に設定し、ネットワーク問題に先んじてレポートとアラームを作成します。

コンプライアンスとセキュリティ

代表的なコンフィグレーションを定義し、適合外のデバイスを調査・調整することで、セキュリティ適合(PCI、HIPAA、NISTなど)を維持します。

ファームウェアアップデート

新規ファームウェアの可用性を通知し、デバイスグループにアップデートを一度にスケジューリングします。

Digi TransPort[®]に最適化:

- サービスレベルコミットメントに適合
- カード支払標準への適合を維持
- デバイスの稼働状態を保持
- 貴社のネットワーク管理ツールを補完

用途:

- ネットワーク運用
- システムアドミニストレータ
- ネットワークエンジニアリング
- ネットワークアドミニストレータ



www.digi-intl.co.jp

貴社のカスタマの期待を上回ります

サービスレベルコミットメントに適合

貴社のカスタマは、信頼できる接続において貴社を頼りにします。Digi Remote Managerを用いることで、以下のような最も重要な性能指標を視覚的に監視しレポートすることができます。

- セルラー接続の履歴
- 3G/4G LTE信号品質
- バケット配信
- レイテンシー
- セルラーデータの送受信
- CPUおよびメモリの使用率
- ネットワークインタフェース・スループット

クレジットカード業界のセキュリティ基準(PCI)に適合

Digiは、多数のセキュリティ認証によって証明され、公式PCIレポート(ROC)で確認されるように、PCI-DSSおよびHIPAAやNISTといったクラウドに求められるセキュリティ認証で業界をリードする位置づけにあります。Digi Remote Managerは、不正利用される前に、不適当または不正確な構成を検知・修正します。これにより、デバイスのプロファイルを定義し、グループ

内のすべてのデバイスにプロファイルを割り当て、どんな不一致でもモニターして自動修正します。Digi Remote Managerは、SSL接続を許可するためだけのトラフィックに制限し、暗号化されていないTCP接続を排除することができます。

デバイスの稼働状態を保持

分散しているM2Mルータのネットワークの運用の際には、多くのことがうまくいかない可能性があります。Digi Remote Managerは、現場に技術者を派遣することなく遠隔のデバイスを診断・修復することができます。コストをかけて現場を訪問することなく、重要なアプリケーションがより高い信頼性を享受できます。

補完的なネットワーク管理ツール

SNMP v1/v2c/v3とサブエディション、あるいは“モジュール”オプションのハードウェアデバイスサポートを融合することによって、既存のネットワーク管理ツールを使用しながら、必要なものを手に入れるためにDigi Remote Managerから個々のモジュールを配備するという選択が可能です。



デバイスの集中管理・監視・設定を行います

Digi TransPortルータ向けの完全な遠隔管理ソリューションを配備するには、Digi Remote Managerスイートと個々のサブエディションを選び、既存のソリューションを補完してください。

Device Health Manager

Digi TransPort機器への定期的なポーリングによって、セントラルダッシュボードは、そのフィールドのデバイスの状況を常に把握することができます。最初に、正常稼働しているデバイスのアトリビュートとバリューを定義します。続いて、ネットワーク内のデバイスやデバイスグループの稼働状況の数値指標を確認します。また、デバイス群の状態について定期レポートをスケジュールしたり、デバイスのステータスが変ったらアラートを発生させることもできます。

Compliance and Security Manager

Digi Remote Managerにより、デバイスのプロファイルの定義や、ファームウェアやファイルシステムの内容の標準的なコンフィグレーションが行なえます。また、推奨されるPCI-DSS認証デバイスプロファイルからの選択も可能です。不適合が検知されたらスキャン頻度を選択してアラートを発生します。プロファイルの再適用とコンプライアンスの復元を行うために所定の修復のスクリプトを記述することもできます。

MAC Address	Device ID	IP Address	Device Type	Description	Health Status	User Meta Data	Type
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000	194.214.134.75	TransPort WRE1	SnT-X-WRE1	Error	Digma Devices	Device
001340344162	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Warning	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000470704520	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device
000441514054	00000000-00000000-00000000-00000000		TransPort WRE1		Normal	Digma Devices	Device

リモートデバイスに全体のコンフィグレーションとファームウェアのアップデートを実行


ネットワーク上のすべてのDigi TransPort機器のスキャン状態を確認できます

Firmware Subscriptions Manager

Digi Remote Managerから、デバイス、グループおよび全体について、有効性、アップデート、不具合の完全なアラートを伴うファームウェアアップデートプロセスのあらゆる局面を管理します。また、アドホックベースで、自動アップデートのスケジュールリング、マニュアルアップデート(アップグレードあるいはダウングレード)の配信を行います。Digi Remote Managerはまた、レポートとコンプライアンスのすべてのアップデート経路の完璧な検査を収集します。

すべて揃ったソリューション

- ✓ 遠隔のDigi TransPort機器を3G/4G LTE経由で集中管理
- ✓ 個々のデバイスを自動監視し、PCIセキュリティコンプライアンスを実現
- ✓ 接続履歴、信号品質、レイテンシー、データ量、パケット損失といったパフォーマンス状態のレポートニングとアラームを実施
- ✓ Webブラウザ経由でリモートデバイスの状態や位置を監視
- ✓ SSL接続だけを許可するよう設定可能
- ✓ セルラー通信網をアクティベートまたは非アクティベートし、規定量を超えた課金を招かないようデータを監視
- ✓ SSAE-16認証を取得した設備
- ✓ ネットワークを保護する適所での175を超えるセキュリティコントロール
- ✓ PCI、HIPAA、NISTなどといったセキュリティフレームワークに適合
- ✓ アプリケーション開発をサポートするオープンAPI

 Digi Remote Manager Suite		Features		
		Device Health	Compliance & Security	Firmware Updates
概要	すべてのサブエディションに追加機能を備えたすべて揃ったデバイス管理ソリューション	個々のデバイス/ネットワーク全体の状態監視	ネットワーク改ざんの初期兆候を検知するための自動スキャン	最新のファームウェアを即座に提供
メリット	大規模ネットワーク管理の運用効果の増大およびリモートマネジメントのコスト低減	ネットワークヘルス状を明瞭に監視、加えて個々のデバイスの現在および過去の性能指標を表示	ネットワーク改ざんの初期兆候の検知や感染リスクの軽減のための自動デバイススキャン	ファームウェアアップデートの都度発生する出張・訪問のコストを低減

- 基本的な製品の
特徴**
- ✓ Report on Compliance (ROC)を備えたPCI DSS認証
 - ✓ ローカルサーバーやソフトウェアの維持は不要
 - ✓ 既存のネットワーク管理ツールを統合
 - ✓ 北米および欧州の複数の商用グレードのSSAE-16認証設備により運用

ディジ インターナショナル株式会社

www.digi-intl.co.jp



〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町22-14 NESビルS棟8F
TEL:03-5428-0261 mail@digi-intl.co.jp

© 1996-2018 Digi International Inc.
●記載した仕様は予告なく変更する場合があります。●記載の社名や製品名は各社の商標または登録商標です。

2018/10 (B5/918)